

部活動などの活躍

第10回あらかわお弁当レシピコンテスト

〇〇〇〇さん(1-2)、〇〇〇〇さん(1-3)、
〇〇〇〇くん(1-4)、〇〇〇〇さん(1-4)

荒川区小論文コンテスト

教育委員会賞 〇〇〇〇くん(1-3)

佳作 〇〇〇〇さん(2-3)

校長賞 〇〇〇〇さん(3-1)

荒川区図書館を使った調べる学習コンクール

奨励賞 〇〇〇〇くん(2-3)

佳作 〇〇〇〇さん(2-2)、〇〇〇〇さん(2-4)

《実用英語技能検定》

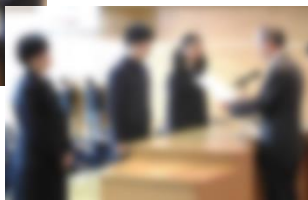
3級取得



◀ 左から〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇くん、〇〇〇〇さん



◀ 左から〇〇〇〇さん、〇〇〇〇くん、〇〇〇〇さん



◀ 左から〇〇〇〇さん、〇〇〇〇くん、〇〇〇〇さん

《パソコン部》

第17回毎日パソコン入力コンクール冬大会

第6部和文B高校生部門入賞

〇〇〇〇くん(2-2)

第5部和文A中学生部門入賞



《教職員表彰》

東京都教育委員会職員表彰 中陳 啓司先生

南千住マイスターのコーナー

と改めて感じさせられます。南千住の歴史をひもとくと、多くの歴史的事件や事象、有名な人になど着きます。この町が人々と一緒に歴史を歩んで来たのだと改めて感じさせられます。

当時、栗友亭に出演していたのは、村田英雄や南条文若(後の三波春夫)、落語では三遊亭円楽や月之家円鏡、橋家円蔵、林家三平、そして漫才では、コロビアトップライト、内海桂子、好江、獅子てんや瀬戸わんや、春日三球・照代 等、昭和では誰も知らない混乱の時代、幼いひばりの才能を見抜いた母は私財を投じて青空楽団を設立し、昭和21年9月、南千住の第四瑞光小学校校現・沙入小の校庭につくられた舞台で美空ひばり初ステージを開催します。ひばりは当時9歳でした。美空ひばりの母は南千住三丁目石炭販売業の家に生まれました。それでこの地の初舞台となったわけです。

南千住と歴史上の人物 最終回
昭和を賑わせた『芸能人』

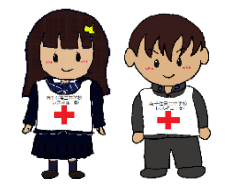
栗友亭 現・栗本商店



題字:校長 齊藤 進



学校だより
平成30年3月
第83号
荒川区立南千住第二中学校



ナンちゃん・ニーくん

卒業生へ

～プラス思考で生き抜こう～

校長 齊藤 進

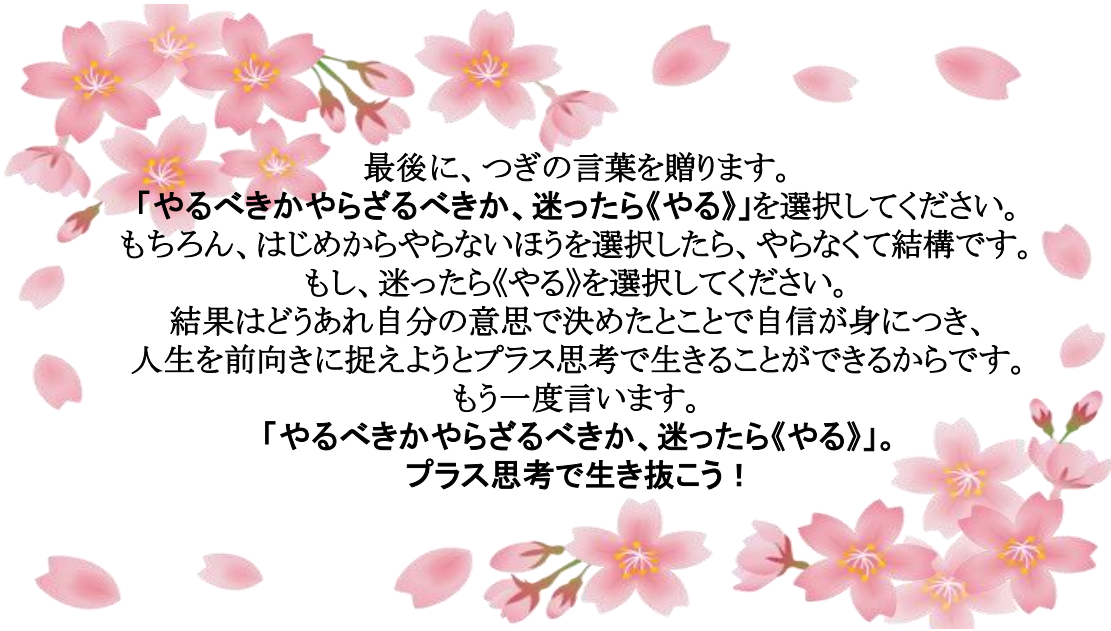
卒業おめでとうございます。

皆さんは、人生は運命だと思いますか、それとも選択だと思いますか。つまり、自分が生まれたことも育った環境もあらかじめ決められて、その後身の周りに起きる出来事もすべて運命であるか、それとも、家を選んで生まれたわけではないが、人生は自分の意思でひとつひとつの事を決めていく、すなわち人生は選択であるか、という問いです。



さて、どちらを選びますか。この問いに正解はありません。しかし、実際の生活では、今日着ていく洋服は何にしようか、何を食べようか、高校はどこを受けようか、などひとつひとつ自分の意思で決めているのです。

運命だと思うと、こうなったのは運命だから仕方がない、などとあきらめたり、投げやりになったりとなかなかプラス思考で考えることができません。ぜひ、人生は選択であると思い、自らの道を切り拓いていきましょう。



最後に、つぎの言葉を贈ります。
「やるべきかやらざるべきか、迷ったら《やる》」を選択してください。
もちろん、はじめからやらないほうを選択したら、やらなくて結構です。
もし、迷ったら《やる》を選択してください。
結果はどうあれ自分の意思で決めたことと自信が身につく、人生を前向きに捉えようとプラス思考で生きることが出来るからです。
もう一度言います。
「やるべきかやらざるべきか、迷ったら《やる》」。
プラス思考で生き抜こう!

3月5日(月) ようこそ青年海外協力隊

5・6校時に、「ようこそ青年海外協力隊」が開かれました。この会は、青年海外協力隊員として実際に国際社会で活躍・貢献した皆さんをお招きしてお話を聞き、国際交流や異文化理解、国際協力について考え、理解しようとするものです。

この日はキルギスの職業学校で、デザインの指導やNGOの商品パンフレットなどの販促用ツールの制作を行った七島 寛子さん、ウズベキスタンの小中学校で音楽教師として活動した駒崎 万集さん、ミクロネシアでゴミ集めからはじめ、ゴミの分別や廃棄物処理の意識を広める活動に携わった柏原 庸一さん、ジンバブエの技術工科専門学校でコンピュータ技術の指導者として働いた岩崎 健太郎さんの4人の方にご来校いただきました。

4人とも青年海外協力隊(JICA)の一員として、自身の持つ専門知識を駆使し、発展途上の国々の教育・産業・インフラ整備などさまざまな分野で国際貢献をしてきました。現地での衣食住にわたる生活や仕事、風土を通して得た体験談は写真や映像などを交えて臨場感にあふれ、日本との違いに驚いたり、異文化を理解することの大切さを気づかせてくださるもので、世界の国々に関心をもつ機会になりました。ひとりひとりの力でできる国際協力を考えていきたいものです。



キルギスの文化について説明する七島さん



民族楽器を弾きながら現地の唄を披露する駒崎さん



全体会の様子



クイズで現地の文化や生活を楽しく紹介する柏原さん



アフリカの大きさと陽気な現地の人々との交流を写真や画像で紹介する岩崎さん

3月8日(木) 卒業遠足

中学校生活最後の学年行事、東京ディズニーシーへの「卒業遠足」へ行きました。恒例の雨に加えて強風の吹く嵐のような一日でしたが、雨には慣れっこの3年生は、班ごとにファストパスをうまく使って園内を回り、中には10個のアトラクションに乗ることができたグループもありました。友だちとのたくさん思い出ができた1日でした。



ご協力ありがとうございました

平成29年度学校関係者評価のまとめ

No.	設 問	肯定 % (昨年度)	学校の自己評価(考察)
1	教育目標・方針 「教育目標・方針が具体的に定まっている」	96% (96%)	教育目標「たくましい人」がかなり定着している。さらに実感できる教育活動を進めていきたい。
2	生徒の様子 「明るく元気な生徒が多い」	94% (93%)	ここ数年肯定的意見が多数を占めている。落ち着いた雰囲気の中で、生徒が健全な学校生活を送っていることが高い評価を受けている。
3	基本的な生活習慣 「生徒の服装・通学態度がよい」	90% (90%)	ほぼ目標を達成できているが、特に保護者の中には厳しい評価もあり、基本的な生活習慣をより向上させるよう日々の指導を徹底したい。
4	生徒理解 「先生が努力している」	89% (85%)	生徒を励まし支援していることが評価され、昨年度を上回っているが、20%弱の生徒が不十分と感じている。全生徒に目を配り、生徒理解に努めたい。
5	健康・安全・安心 「安全・健康・主体的に行動できる教育」	94% (94%)	レスキュー部の活動や避難訓練・安全指導が定着し成果があがっていると考えられる。生徒の意識も大変高い。さらなる向上を目指したい。
6	分かる授業 「楽しく学べる授業が多い」	85% (86%)	肯定的意見が多いが保護者の評価が低めで「わからない」の回答も多い。授業公開を工夫するなどして授業のようすを知ってもらえるように改善する。
7	個に応じた指導 「学習進度・理解度に応じた学習指導」	86% (87%)	習熟度別授業等、一定の成果をあげているが、指導方法の改善やクラス分けの工夫等、さらに効果的な方法を具体化していく必要がある。
8	学習習慣 「自主学習・家庭学習習慣が定着している」	67% (70%)	自習教室の運営方法の工夫や学校としての家庭学習課題の明確化など、具体的な改善を必要とする。家庭と協力し推進していく。
9	情報教育 「ICT機器利用・情報活用能力向上」	75% (75%)	電子黒板の活用は定着しているが、昨年に続きタブレットPCの不具合が多く、活用場面が減少してしまった。環境整備が必要である。
10	学校図書館の活用 「読書・学習に役立つ学校図書館利用」	70% (67%)	昨年に比べやや上昇した。意識的な図書活用が成果を上げつつあるが、不十分な面もある。さらに工夫し、利用の実感がある図書館運営を目指す。
11	人権教育 「自主的な取り組み・意識高い人権教育」	91% (91%)	今後も普段からの教育活動全般において人権感覚を育てていくとともに、いじめ等の早期発見やそれに対処するシステムを強固にしていく。
12	道徳教育 「生活・思いやり・尊厳・道徳性を育む教育」	83% (78%)	教育活動全体で道徳性の向上を進めており、昨年度を上回った。今後も資料等を活用した道徳の時間を要とした道徳教育を推進・充実させていく。
13	教育相談 「教育相談窓口の充実」	76% (73%)	昨年度より上昇しているが、依然、生徒の評価が低い。不安を抱える生徒を見逃さず相談を待つのではなく、相談を必要とする生徒の発見に努めたい。
14	人間関係づくり 「学校行事・体験活動を通じた人間関係構築」	95% (95%)	行事等を通じ、充実した体験活動が定着してきている。今後もさらに内容を工夫し、全生徒が所属感をもてるような教育活動を推進する。
15	自治的な活動 「学校活動・生徒会活動等、主体的・自治的」	92% (91%)	生徒会活動を中心とした自治活動が定着しつつある。関わりを実感できない生徒に所属感・成就感をもたせるさらなる工夫をしていきたい。
16	情報発信 「学校紹介・学年行事・日々等の教育活動発信」	92% (94%)	情報発信は高い評価を得ている。今後も学校便り、学年便りの発行、学校ホームページの更新、情報配信システムの有効活用等を進めていく。
17	相談への対応 「生徒・保護者からの連絡・相談に適切に対応」	90% (88%)	生徒や保護者からの相談に丁寧に対応している。今後も個や家庭に応じた相談に力を入れ生徒・保護者がより実感できるよう対応していきたい。
18	学校への参加 「必要事項の提出・行事に参加しやすい」	91% (91%)	行事等への保護者の参観は大変多い。土曜日授業公開、学校公開週間、保護者会等を魅力的なものにし、より参加しやすい設定を工夫したい。
19	地域への参加 「地域行事等への協力・連携」	87% (86%)	レスキュー部員を中心としたボランティア等の参加は定着してきた。さらに参加者が多くなるよう、積極的に促し、充実させていきたい。
20	意見の反映 「保護者等の意見を受け止め教育活動の改善」	91% (92%)	数年来、保護者・地域から肯定的な意見をいただくことが多い。今後も細やかな対応をし、さらに充実した教育活動を展開したい。
21	基礎・基本の徹底 「基本・学習・道徳等身につけてもらう工夫」	85% (90%)	学習コンテストなどの取り組みが一定の評価を得ているが、今後は基礎基本の定着に直結している実感がもてる指導法を工夫したい。
22	授業評価の活用 「授業評価を生かした授業改善の工夫」	86% (88%)	保護者には伝わりにくい面があるようだが、多くの生徒が授業評価が授業改善に反映されていると感じている。保護者にも分かる形を工夫したい。
23	進路指導の充実 「進路指導・進路実現の適切な指導」	91% (89%)	各学年のキャリア教育が定着しつつある。進路指導に偏ることなく、3年間の計画的な進路指導を実施し、さらに充実させたい。
24	地域学習 「地域を知り地域に貢献する生徒の育成」	89% (89%)	地域学習が定着し、学年が上がるほど地域に対する意識も高い。3年間を見通した計画も確立しており、今後も推進していきたい。
25	JRC活動 「学校活動・行事等と連携する生徒の育成」	89% (92%)	レスキュー部の活動やボランティア活動等も充実し、JRC活動に対する意識も高まってきている。今後も形骸化することなく活動を推進していきたい。

○ 今年度もほぼ全項目において、肯定率が70～90%前後の高い評価を受けた。一方で、保護者の「よくわからない」の解答が多い項目もあり、教育活動の保護者への周知が今後の課題の1つでもある。

今年度ご協力いただきました学校関係者評価のまとめを掲載させていただきます。「だいたいいあてはまる」「詳しいデータ等は本校ホームページにて公開しますのでご覧ください。」の合計です。詳しいデータ

あらBOSAI



3月3日(土)に、「あらBOSAI」が南千住野球場にて行われました。これは、防災について楽しく学び、子どもたちの防災意識を高めることを目的に毎年開催されているもので、今年も南千住二中からは、2年生のレスキュー部員を中心に12人が参加しました。当日は多くの小学生とご家族が訪れ、消防署や警察署、自衛隊、ガス・水道・電気などのライフラインを担う企業も参加して盛大な催しとなりました。体験プログラムは、永久水利活用訓練や応急手当の仕方などの本格的な活動から、水消火器的当てゲーム、水害紙芝居、紙食器づくりなどの小さな子どもも楽しみながら体験できるものまでさまざま。レスキュー部員は、ポンプによる放水の模範演技から、救急処置の仕方などの指導役まで色々な方面で大活躍して、防災意識の向上に努めました。



ポンプによる放水の模範演技



救急処置の仕方を指導。

あらBOSAI参加者：

1年生 落語鑑賞教室



3月9日(金)、サンパール荒川大ホールを会場にして、荒川区立中学校「落語鑑賞教室」が行われました。南千住二中は、午前の部に1年生が参加。日本の伝統芸能である落語や傘回しの曲芸をはじめとする太神楽などの舞台を鑑賞しました。

この日の高座には、笑点の大喜利メンバーとして人気の三遊亭好楽師匠が登場。ひとりで何役も演じる語り口、扇子や手拭いをつかってあらゆるものを表現する様子はまさに名人芸で、1年生は誰もが舞台を真剣に見入っていました。落語を通して、日本の伝統文明への関心を高める1日となりました。

地域清掃

隅々まできれいに清掃する
1年生の皆さん

3月10日(土)、土曜授業公開日の3、4校時に、春は雨で中止だったため、今年度はじめてとなる地域清掃を行いました。今回3年生は卒業に向けての校内美化活動を行うため、地域清掃には、1、2年生とご参加いただいた保護者の皆さま、教職員総勢およそ300名が参加しました。出発式では、注意事項などの説明につづいて、JRC委員長の○○○さんが「日頃お世話になっている地域をきれいに、地域も心もきれいにしましょう」と力強く挨拶しました。その後、鉄ばさみとゴミを入れるレジ袋を手に南千住の街に一斉に繰り出しました。清掃活動はおよそ1時間。道路脇の植え込みの中や側溝のふたの間まで目を配り、隅々まで一生懸命に地域の美化活動に努めました。

全校生徒が校庭に戻ってくると、大きなポリバケツはあっという間にあふれるほどになりました。その後JRC委員がゴミを分別して、作業に使った鉄ばさみや資源となる缶やペットボトルなどはきれいに洗って回収してもらいました。計画や準備から出発式の司会、最後の片付けまで行ったJRC委員の皆さん、ご苦労さまでした。そして、ご参加いただいた保護者の皆さま、ありがとうございました。



JRC委員長の○○○さん

3月9日(金) 球技大会

卒業遠足の翌日は3、4校時に、「ビーチボールバレー大会」を開催。各クラスを5、6人の5チームに分け、4人制のビーチバレーが行われました。試合は5グループのリーグ戦で行われ、各リーグの1位の5チームで優勝をかけて決勝トーナメントを実施。また、各グループで負け続けた最下位の5チームでピリを争うピリ決定戦も行われ、会場は熱い声援と選手たちの授業では見せたことのないほどの真剣な表情、そして笑いときざめきに終始包まれました。最後に結果発表が行われ、1位は3組、2位は2組でしたが、勝敗を気にするよりも、お互いの健闘をたたえ合う姿が多く見られました。



①まずはフェアプレーを誓う握手！

②そ〜れ！サーブで試合開始。

③気合いあふれる構え！

④どんなボールだってレシーブよ！

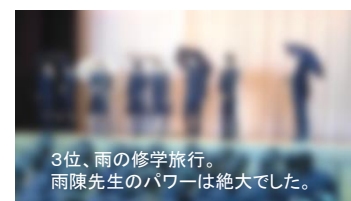
⑤アタ〜ク！決まった〜かな？！

3月12日(月) 三年生を送る会

1校時に、1・2年生の生徒会本部と中央委員会が企画・運営する「3年生を送る会」が開かれました。会の進行は生徒会本部が務め、はじめに1・2年生を代表して生徒会長 ○○○○くん(2-1)から3年生へ感謝の言葉が送られました。つづいて1・2年生劇では、3年生にアンケートをしてまとめた3年間の思い出ベスト3が楽しく演じられました。そして、1・2年生全員によるAIの曲「ストーリー」の合唱と1・2年生一人ひとりの感謝の言葉を記したメッセージボードが贈られました。

3年生からは、前生徒会長の○○○○さん(3-3)から、「部活、行事を通じて、楽しい1、2年生と過ごせて私たちも嬉しかったです。ありがとうございました。」という感謝の言葉と、3年生全員によるいきものがかりの曲「ありがとう」の合唱が贈られました。

3月16日(金)には卒業式が行われます。この日のように全校で心をひとつにして、素晴らしい式になることを願っています。



3位、雨の修学旅行。雨陳先生のパワーは絶大でした。

1、2年生による劇
「3年生の思い出ベスト3」



2位、運動会。この日の劇にはむかで競争ならぬイモムシが登場し、会場は大盛り上がりしました。

1位は霜月祭。地域劇に登場する4人をそっくりに演じて場内は爆笑！



上:3年生による歌のプレゼント

左:1・2年生によるメッセージボード

3年間ありがとう！